

## 第12回貨物鉄産労 退職者連絡会総会を開催



11月20日、大阪市内において開催され、今後の活動方針が満場一致で可決されました。

会を代表して挨拶に立った前村会長は、「ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルとパレスチナ問題では、多くの民間人が犠牲になっており早期の終戦を求めたい。国内に目を向ければ、物価上昇が著しく国民の生活は困窮している。少子化対策や高齢化社会対策など、多くの問題が山積しているが、安心して暮らせる日本を取り戻すため、論戦をお願いしたい。交運共済から COOP 共済へ契約移転したが、全国から多くの問題が寄せられており、改めてお詫び申し上げる。地区本部や本部と連携し丁寧に対応していきたい。本日は短い時間であるが活発な議論をお願いする」と述べられました。

来賓には、JR 連合退職者連絡会中山局長、貨物鉄産労本部辻村委員長にお越し頂き、中山局長からは COOP 共済移転について、辻村委員長からは、会社の情勢・組織課題・政策課題・労働条件問題等を述べて頂きました。

質疑では、COOP 共済移転に関する問題・組織課題・財政課題・今後の取り組み等が出され、役員改選では、前村会長が退任し、新たに山崎俊実氏が会長となり、新役員体制が発足しました。